
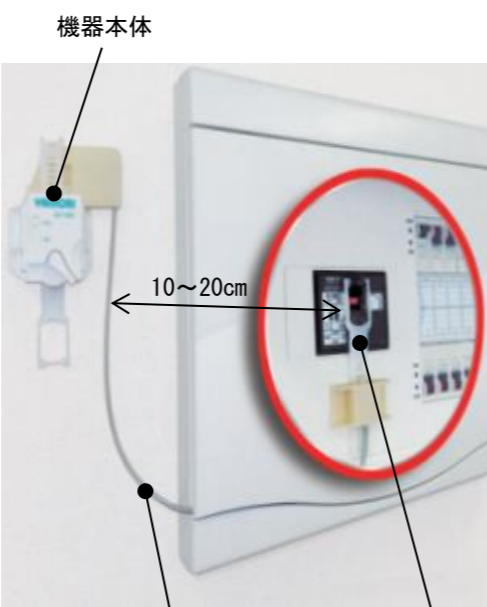


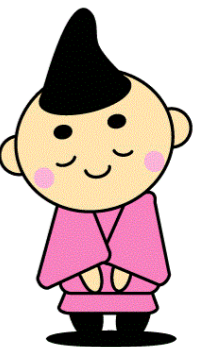


●感震ブレーカー比較一覧表(分電盤に設置するタイプ)

機器番号	①	②	③	④
機種名	ヤモリ	ヤモリ・デ・セット	パワーヤモリセット	ピオマ
設置箇所	分電盤	壁+分電盤	壁+分電盤	壁+分電盤
機器写真				
参考価格 ※1	3,300 円	6,050 円	10,450 円	17,600 円
自己負担額	1,100 円	3,050 円	7,450 円	14,600 円
遮断のタイミング	揺れを感知後すぐに遮断	揺れを感知後すぐに遮断	揺れを感知後すぐに遮断	揺れを感知して3分後に遮断
寸法(mm) 幅×高さ×厚み	機器本体:66×145×55	機器本体:90×150×55 ワイヤー長さ:480	機器本体:90×150×55 遮断機:66×150×55	機器本体:62×87×47 遮断機:67×67×31
設置方法	①機器本体を両面テープで分電盤に貼付ける ②付属のバンドをブレーカーレバーにひっかけて設置 ※付属のアルコールパッドで接着部分をきれいに する際、アルコールが乾いてから貼付けてください	①両面テープで機器本体を壁に、バンド部分を 分電盤に貼付け ②付属のバンドをブレーカーレバーにひっかけて て設置 ※付属のアルコールパッドで接着部分をきれいにす る際、アルコールが乾いてから貼付けてください	①両面テープで機器本体を壁に、遮断機を分 電盤に貼付ける ②遮断機のバンドをブレーカーレバーにひっか けて設置 ※付属のアルコールパッドで接着部分をきれいにす る際、アルコールが乾いてから貼付けてください	①機器本体を木ネジで壁に取り付け、遮断機 を両面テープで分電盤に貼付ける ②遮断機のバンドをブレーカーレバーにひっか けて設置
特徴	●設置が簡単 ☺蓋付きの分電盤の場合、蓋が閉まらない (動作に影響はありません)	●設置が簡単 ☺機器本体とバンドをワイヤーで繋いで分離 し、蓋付きの分電盤の蓋がほぼ閉まる ☺機器本体を両面テープで壁に貼り付けるた め、土壁や砂壁等、壁の材質によっては設置 できない	●設置が簡単 ☺蓋付きの分電盤の場合、蓋が閉まらない (動作に影響はありません) ☺機器本体を両面テープで壁に貼り付けるた め、土壁や砂壁等、壁の材質によっては設置 できない ●契約アンペア75A以上等ブレーカーレバー が硬いものにも使用できる	☺蓋付きの分電盤の場合、蓋が閉まらない (動作に影響はありません) ☺機器本体をネジで壁に取り付けるため、壁に 穴があく ●遮断まで3分の猶予があり、避難時の照明 が確保できる
昨年度設置実績	約27.4% (第②位)	約15.5% (第③位)	約0%	約0.5%

取り付け後は、定期的に設置状態、
動作の確認をお願いします。



※1 参考価格は変動する場合があります。価格の変動があった場合、市のホームページを随時更新してまいりますので、最新の価格は市のホームページにてご確認ください。

●感震ブレーカー比較一覧表(アース付き(もしくは三端子付き)コンセントに設置するタイプ)

機器番号	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
機種名	Ki 感震センサー (アース線タイプ)	Ki 感震センサー (三端子タイプ)	震太郎	一発遮断	瞬断	ZEN断+
設置箇所	アース付きコンセント	三端子コンセント	アース付き or 三端子コンセント	アース付きコンセント	アース付きコンセント	アース付き or 三端子コンセント
機器写真						
参考価格 ※1	7,150 円	7,700 円	11,000 円	6,820 円	6,380 円	6,380 円
自己負担額	4,150 円	4,700 円	8,000 円	3,820 円	3,380 円	3,380 円
遮断のタイミング	揺れを感知して 3 分後に遮断	揺れを感知して 3 分後に遮断	揺れを感知して 3 分後に遮断	揺れを感知後すぐに遮断	揺れを感知後すぐに遮断	揺れを感知して 0 秒~3 分の間に遮断
寸法 (mm) 幅×高さ×厚み	機器本体:30×110×40	機器本体:110×30×40	機器本体:62×90×32	機器本体:74×56×36	機器本体:45×45×32	機器本体:50×60×33
設置方法	①機器本体を木ネジ(壁が石膏ボードの場合アンカー+木ネジ)で壁に取り付ける ②アース端子にアース線を設置し、コンセントにプラグを差し込む	①機器本体を木ネジ(壁が石膏ボードの場合アンカー+木ネジ)で壁に取り付ける ②三端子コンセントにプラグを差し込む	①三端子コンセントにプラグを差し込むか、アース端子にアース線を設置し、コンセントにプラグを差し込む	①機器本体を木ネジで壁に取り付ける ②アース端子にアース線を設置し、コンセントにプラグを差し込む	①機器本体裏面の両面テープの剥離紙を剥がす ②アース端子にアース線を設置し、コンセントにプラグを差し込む	①機器本体裏面の両面テープの剥離紙を剥がす ②アース端子にアース線を設置し、コンセントにプラグを差し込むか、三端子コンセントにプラグを差し込む
特徴	●遮断まで3分の猶予があり、 避難時の照明が確保 できる ☺機器本体をネジで取り付けるため、 壁に穴があく	●遮断まで3分の猶予があり、 避難時の照明が確保 できる ☺機器本体をネジで取り付けるため、 壁に穴があく	●遮断まで3分の猶予があり、 避難時の照明が確保 できる ●機器本体を壁にネジで取り付ける必要がないため 壁に穴があかない	☺機器本体をネジで取り付けるため、 壁に穴があく	●機器本体を壁にネジで取り付ける必要がないため 壁に穴があかない	●遮断までの時間を0秒~3分の間で30秒ごとに設定でき、 避難時の照明が確保 できる ●壁にネジで取り付ける必要がないため 壁に穴があかない ●上部のボタンを3秒間押し続けると 動作をキャンセル できる
昨年度設置実績	約0.2%	約0%	約0.6%	約0%	約1.1%	約54.7% (第①位)

※1 参考価格は変動する場合があります。価格の変動があった場合、市のホームページを随時更新してまいりますので、最新の価格は市のホームページにてご確認ください。

※2 コンセントに設置するタイプの感震ブレーカーは、震度5強以上の強い揺れを感知すると疑似的に漏電を発生させ、分電盤の漏電ブレーカーを作動させることにより、ご自宅への電気の供給を遮断します。
ご家庭のコンセントをご確認いただき、アース付きや三端子付きコンセントに、空きがあれば取り付けることができます。